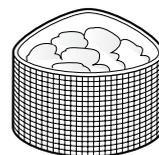


# 生ごみの投入のしかた

## 分別して入れる

- 投入できるものと、投入できないものがあります。あらかじめ、必ず分別してください。 [9 ページ](#)



投入できるもの



投入できないもの

## 硬くて大きいものや長いものは小さくする

- ごぼう、とうもろこしのしんなど硬くて大きいものや、長ネギの白根など丈夫な繊維質の長いものは、5cm以下に小さくしてください。かくはんの異常、および処理が遅くなる原因となります。
- おにぎりのような、だんご状のものは、ほぐして入れてください。においが強くなったり、処理が遅くなる原因となります。



## 水切りをおこなう

- 生ごみを投入するときは、水切りをしてください。バイオ基材の水分が多くなると微生物が住みにくくなり、においが強くなる原因となります。また、バイオ基材が固まりやすく、バイオ基材の交換時期を早める原因となります。
- スイカなどの水分の多い生ごみを、多量に投入しないでください。(1日200g以下が目安です) バイオ基材がべたつき、においの原因となります。



## 入れすぎない

- 1日に投入できる生ごみの量は、NP-40CXの最大処理能力は約1.3kgです。(連続で投入できる生ごみの量は約1.0kgです) NP-20CXの最大処理能力は約1.0kgです。(連続で投入できる生ごみの量は約700gです)
- ・規定量以上投入すると処理が遅くなり、においが強くなる原因となります。
- ・使いはじめ、および室温が低い場合は処理能力が低下しますので、一度にまとめた生ごみの投入は控えてください。

### 投入量の目安

生ごみ用三角コーナー1杯で約1.0kg、1杯弱で約700gです。生ごみの種類により異なりますが、目安としてください。

